教育情報化教材論A 第5回ワークシート

A20-0241出岡桂也

2021年5月21日

私のeラーニングの定義

「インターネットを用いた学習者と教育者両方にとっての新しい学び」

•私のeラーニングについて求められる評価とは

私の定義は学習者と教育者両方に着目した考えであるので、評価の際には教育評価と授業評価が必要である。また新しい学びによって学習がどう変化したかを評価することも重要である。

まず教育評価について考える。eラーニングを用いた学習をすることで、生徒のやる気が向上し、主体的に学ぶようになることが期待される。そして結果として生徒の成績向上が期待できる。評価方法としては、eラーニングを用いて勉強をした時間の推移と成績のデータを集めることが考えられる。

次に授業評価について考える。これは生徒が授業を評価するもので、eラーニングを用いた授業を受けてみて、生徒がどう感じたかや普段の授業より分かりやすかったなどを評価することが出来る。また教員も自分の授業を評価し、普段の授業と比べたときの進行具合の差や、生徒の授業に対する姿勢を評価できる。